

多摩市議会議員 政党や特定団体の支援は一切受けず完全無所属で活動中

岩永ひさか Report

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

発行/岩永ひさかと夢・まち会議 Phone (留守番電話専用) / 042-371-0763



もっと快適に利用できる公園の駐車場に?!

駐車場の有料化が検討されています。

「まちを維持していく」…老朽化した施設をこれからも大切に利用していくためのメンテナンスの時代。また、すべての公共施設について「利用する人」「利用しない人」が存在することを認識するとき、その費用の一部として、「利用者する人が利用料金を負担する」という考え方は、現在、多くの皆さんに理解していただいているのではないのでしょうか。

そうした背景も踏まえ、公園内にある駐車場についても、老朽化などによる舗装の傷みを改善し、あるいは、かねてから指摘されている駐車台数不足等の課題を解決するための対応が検討されてきました。今回は、有料化を実施するための駐車場整備は市が行い、維持管理は民間事業者へ委託をしていく方向で実施する旨、議会には事前説明がありました。有料化を導入するのは、「収益が見込める」と判断された場所のみとのことですが、果たしてその見込みを含め、どこまで精緻に計画がなされているかなど、いささか疑問な点もあり、今後、市民説明会で出された意見なども踏まえ、慎重に検討を進めてほしいと考えています。

▽市民説明会は7月31日、8月3日、4日、6日に開催。
場所や時間他詳細はQRコードよりご確認ください→



有料化を予定している公園駐車場と有料化についての概要

愛宕東公園	宝野公園
一本杉公園	鶴牧西公園
大谷戸公園	永山南公園
貝取南公園	奈良原公園
貝取北公園	並木公園
諏訪南公園	中沢池公園
諏訪北公園	連光寺公園
関戸公園	和田公園
多摩東公園	

原則、駐車スペースを10台以上確保できる公園にて、同一料金体系で有料化。また、10台未満であっても利用者ニーズの高い公園では実施。
…最初の30分は無料、以降1時間100円(立地によって最大料金を設定。障がい者割引有)

駐車場の拡張整備を順次行っていくが、整備済みの駐車場については令和5年度から有料化を導入し、令和8年度までに全公園で実施。

PROFILE

1977年 兵庫県神戸市生まれ/1989年 北諏訪小学校卒/1992年 桐朋女子中学校卒/1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒/1999年 中央大学法学部政治学科卒/1999年~2002年 中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務/2006年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了(公共政策学修士)
2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙当選以降6回当選
2022年現在 議員歴20年 諏訪2丁目在住

Phone&Fax 留守番電話専用電話

お名前、ご用件と希望する連絡先・アドレスなどをお願いします。
☎: 042-371-0763 mail: hisaka_box@yahoo.co.jp

民主主義はとことん話し合う。「違い」を理解し、互いを思いやれる社会をつくっていくのが民主主義であって、価値観が違う、意見が違ったとしても、お互いを理解し合うことから始まるのだと思います。

日本社会を震撼させた参議院選挙中の出来事に私たち市民一人ひとりは何を想い、何を考えたのか。心を落ち着けて、自分自身に問うことこそ、私たちの社会やこの先の未来にも求められるのではないのでしょうか。大変悲しい、痛ましい、そして、残念な事件です。

いかなる理由があっても、暴力には反対します。
銃撃されて亡くなった安倍晋三元総理大臣、心からご冥福をお祈り申し上げます。

わたしたちには一人ひとりの生き方がある。だからこそ、考え方の食い違いやすれ違いが絶えず存在している。

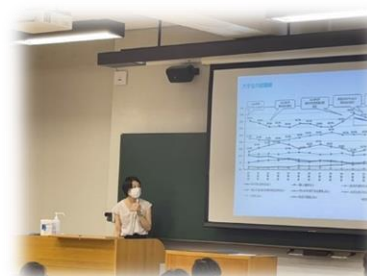
しかし、誰もがその存在を否定されてはならないのです。「気に食わない」「違うことが許せない」という理由で感情的に攻撃しあうような世の中が助長されませんように。口先だけでなく、真摯に向き合い、コミュニケーションを大切に作る姿勢が、ますます重要になってきた時代の真っ只中にいるのではないのでしょうか。
みなさまが無事に過ごせる夏になりますようお願いしています。

2022年 夏

岩永ひさか

Pickup!

中央大学のキャリアデザインの授業で講演。お題は「ジェンダー、子育て、ワークライフバランス」



Policy & Style

公平公正な姿勢!
市民全体に向けた活動を心がけ、個人後援会はつくりません。

政策づくりが議員の仕事!
議員としての専門性を磨き、市民の自治力の向上をバックアップします。

話し合いが大切!
意見の違いは粘り強く議論をつづけることで、「第3の道」を見つける努力をします。

新しいアイデアで環境共生都市を。まちをもっと楽しく・生き生きと！

地球の温暖化を私たちが肌で実感するようになりました。今年はあるという間に梅雨明け、その後、いのちの危険すら感じる暑さが続き、軒下で風鈴の音を聞き、夏を感じるような風情も様変わりしています。

「ワンヘルス」を私たちの意識に。 環境基本計画の改定に向けて。

今年から多摩市では環境基本計画の改定に取り組みます。阿部市長は今後、「環境共生型都市」や「健幸都市の実現」を掲げたまちづくりにさらに力を注ぐことを表明していますが、「私たち人間の健康、社会活動は健全な地球環境があってこそ成り立つ」ことを改めて認識し、実践していきたいものです。

多摩市は「気候非常事態宣言」をいち早く表明しましたが、その具体的な取り組みを進めるにあたって、欠かせないのが「生物多様性」という視点。気候危機はもちろんのこと、それと共に私たち人間は地球上で人間だけで生きているわけではなく、動物や生態系の健康とが繋がっていることをますます認識せざるを得なくなっていると思います。今こそ、「人、動物、生態系、この3つの健康を、一つのもののみなし、守っていくことを訴えていく」「ワンヘルス」の考え方を再確認し、多摩市の環境行政、「環境共生型都市」の実現に向けて取り組んでほしいと考えています。

←今年の夏も、
やぎたちが活躍中
@多摩センター。

豊ヶ丘商店街に
ある一角。スペース
を活かしたコミュニ
ティガーデン →

身近な場所で「食べる・育てる」。 エディブルパークの可能性は。

最近、ウクライナ問題、物価高騰などで日本の食糧自給率の低さが話題になっている中、「食べること」への危機感が募り、自給自足への関心が高まっているようです。私の身近でも、家庭菜園に挑戦する人が増えているような気がします。とは言え、本格的に「農業」となると、これはなかなか大変ですし、ベランダ菜園となっても、ハードル高いなあと感じる人も多いのではないのでしょうか。

そこで、こうした「農」に縁遠いけれど、関心のある市民を対象に「エディブルパーク」に取り組みをはじめている地域がありますが、多摩市でも「環境共生型都市」実現のアイデアの一つとして採用できそうな気がします。

エディブルパークは基本的には有機・無農薬の手法でその土地にあった「食べられる果樹・野菜等」を育てる試みですが、みなで収穫し、みなで食べることの実践を通じて、地域のつながりをつくる取り組みとして、また、

空いている市有地という点では、実はそれほど使われていない公園等を「地域の人たちで利活用する」という視点でも注目されています。

豊ヶ丘商店街の一角で、恵泉女学院大学のみなさんが実験的に「歩道脇」にある花壇を活用したコミュニティガーデン、野菜作りに取り組んでいます。市は、現在「道路アダプト制度」により、「花苗」を配布し、花壇づくりを進めています。野菜苗もよいのでは？こうした取り組みにも学んでいきたいものです。



←豊ヶ丘商店街の
収穫でき、食べること
ができるみどり

「収穫したものは誰のもの？」という課題にぶつかり、果実や野菜を栽培するという選択肢は無いのが現状ですが、もっと多様なアイデアを取り入れ、食糧自給率アップへの意識改革、食生活の大切さを学ぶことにもつなげ、コミュニティを楽しくしていきたいと思っています。

エコシティ、サイクルシティ。 「自転車文化」の可能性は。

さて、坂道の多い多摩市ですが、「健康志向の高まり、環境負荷の低減」という視点からも自転車の利活用は一つの可能性として無視できないような気がします。最近は電動アシスト自転車もママチャリだけではなく、スポーツタイプのイーバイクも流行っていますが、自転車のみならず、歩行者や車のためにも安全に走行できる環境づくりは今後の大きな課題です。一足飛びに「自転車専用道路」を設置することは現実的ではありませんが、長期的な視点に立ち、今後、自転車を安全に使用できる道路づくり、あるいは、電動アシスト自転車を気軽に充電できる場所の設置などにも取り組むことで、未来を見据えたまちづくりが進んでいくのではないのでしょうか。

ニュータウン地域の遊歩道はまちの魅力の一つ。みどりの豊かさを守り、育て続けながら、気持ちの良い季節の時には安全に自転車で走れる空間の確保をめざしたいですね。

アイデアを集めて、まちの魅力を高めていこう！

多摩市はまち全体が「公園」のようなまち。住んでいると当たり前であっても、豊かなみどりに囲まれた住環境は、他市も羨むまちの財産。新しいアイデアに学び、市民と共に楽しくまちづくりコミュニティづくりを進めるとともに、衰えが目立ちはじめた豊かな緑の育成も力を注ぎ、子どもたちの未来にもつなげていきたい！みなさまからの情報提供、ご意見などお待ちしております。

多摩センターバルテノン
大通りで行われた市民参
加型のまち美化の取組み。

側溝掃除に参加し、泥や
枯葉のかきだしを手伝い
ました。街路樹の生命力、
強さは半端ないなあ…
根っこがしっかりと側溝
にも進出していました。

